

# 新興国 経済・金融指標チャート集

お客さまご参考資料  
2014年9月版

## はじめに

新興国とは、米国、日本、西欧諸国などの主要先進国に対して、経済が発展段階にあり今後高い成長が期待できる国々を言います。

当資料は新興国経済の数ヶ月～数年の流れを見ることを目的として作成しました。

掲載対象は、中国、インド、インドネシア、ブラジル、メキシコ、ロシア、トルコ、南アフリカの8ヶ国です。

## データ期間について

原則として、2008年初から、発行月の前月末までに発表された指標、指数などを掲載しています。直近値がいつ時点のデータであるかは、各チャートをご確認ください。各チャートの最大値、最小値はデータ期間内を対象としています。また、チャート内の空白部分はデータが取得できなかった期間です。その場合、始点の時期をチャート内に表示しています。

## 掲載項目の説明

### 今月のコメント

各国の経済などの状況につき、簡単なサマリーを記載しています。

### 実質GDP成長率

経済規模の成長がわかります。四半期ごとの実質国内総生産(GDP)成長率を掲載しています。

### 貿易収支

各国の対外的な経済活動状況がわかります。

### 政策金利

金融政策で操作される金利です。物価と合わせてみることによって、物価上昇と金融の舵取り(金融政策)の相互関係がわかります。

### HSBC製造業購買担当者指数(PMI)

企業の生産活動がわかります。HSBC製造業購買担当者指数(PMI)は、製造業の購買担当者に対する調査結果を指数化したもので、50を超えると景気拡大、50未満の場合は景気後退を示唆します。

### 消費者物価指数

物価の動きがわかります。消費者物価指数上昇率を掲載しています。ただし、インドは、指標として一般的な卸売物価指数を使用しています。

### 国債利回り

債券市場の動きがわかります。5年債、4年債の利回りを掲載しています。

### 為替レート

為替市場の動きがわかります。対円、対米ドルの2つを表示しています。

### 小売売上高

消費者の購買活動がわかります。インドは自動車販売台数の伸び率、トルコは消費者信頼感指数、他国は小売売上高伸び率を掲載しています。

### 失業率

各国の雇用環境がわかります。

### 株価指数

株式市場の動きがわかります。各国の代表株価指数を掲載しています。

### 株価バリュエーション

株価の状況を判断する代表的な指標として、月末の株価収益率(PER)と株価純資産倍率(PBR)を掲載しています。

掲載しているチャートとご参考ページは、中国とインドの失業率はユーロモニター、PMIはMarkit、中国の実質GDP成長率はデータストリーム、その他はブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成しています。

当資料の対象8ヶ国の世界ランキングです。

## 面積 (万km<sup>2</sup>) (世界合計 13,427)

順位	国名	2010年
1	ロシア	1,710
2	カナダ	998
3	米国	983
4	中国	960
5	ブラジル	851
6	オーストラリア	774
7	インド	329
8	アルゼンチン	278
9	カザフスタン	272
10	スーダン	251
11	アルジェリア	238
12	コンゴ	234
13	サウジアラビア	215
14	メキシコ	196
15	インドネシア	190
24	南アフリカ	122
36	トルコ	78

## 国内総生産 (億米ドル) (全世界 767,760)

順位	国名	2014年予想
1	米国	175,284
2	中国	100,276
3	日本	48,463
4	ドイツ	38,758
5	フランス	28,857
6	英国	28,275
7	ブラジル	22,160
8	イタリア	21,715
9	ロシア	20,922
10	インド	19,958
11	カナダ	17,690
12	オーストラリア	14,358
13	スペイン	14,153
14	韓国	13,079
15	メキシコ	12,876
16	インドネシア	8,593
19	トルコ	7,671
32	南アフリカ	3,542

## 人口 (万人) (世界合計 701,754)

順位	国名	2012年推計値
1	中国	134,324
2	インド	120,507
3	米国	31,385
4	インドネシア	24,822
5	ブラジル	20,572
6	パキスタン	19,029
7	ナイジェリア	17,012
8	バングラデシュ	16,108
9	ロシア	13,808
10	日本	12,737
11	メキシコ	11,498
12	フィリピン	10,378
13	エチオピア	9,382
14	ベトナム	9,152
15	エジプト	8,369
17	トルコ	7,975
26	南アフリカ	4,881

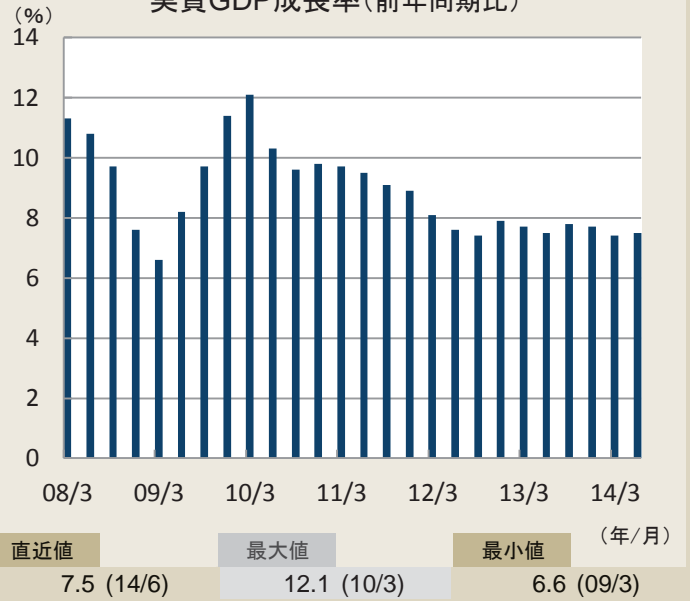
## 1人当たり国内総生産 (米ドル)

順位	国名	2014年予想
1	ルクセンブルグ	116,134
2	ノルウェイ	99,574
3	カタール	96,635
4	スイス	86,145
5	デンマーク	61,889
6	オーストラリア	61,137
7	スウェーデン	59,727
8	シンガポール	55,568
9	米国	54,980
10	オーストリア	52,216
25	日本	38,142
51	ロシア	14,645
63	ブラジル	11,080
65	メキシコ	10,767
67	トルコ	9,920
82	中国	7,333
88	南アフリカ	6,595
118	インドネシア	3,417
141	インド	1,584

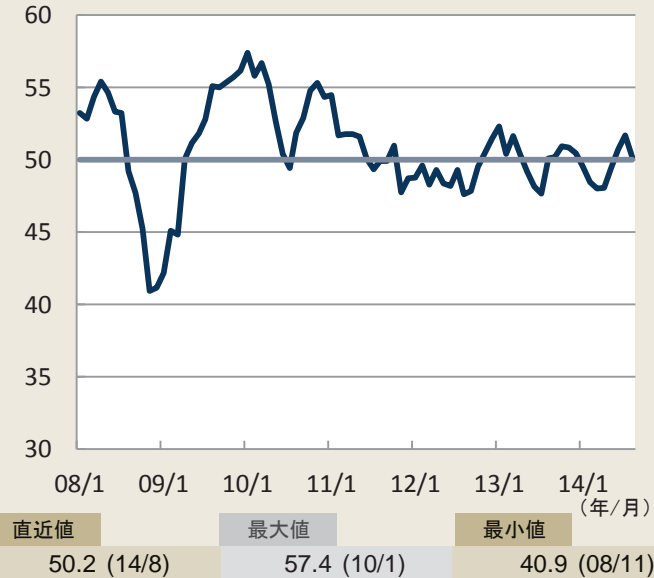
出所:面積はWorld Bank, World Development Indicator、人口はU.S. Census Bureau, International Database、国内総生産はIMF, World Economic Outlook (Apr 2014) のデータをもとにHSBC投信が作成

- 8月のHSBC製造業購買担当者指数(PMI)は50.2と、7月の51.7から低下しましたが、3ヶ月連続で景気判断の分岐点である50を上回りました。
- 7月の消費者物価指数は前年同月比で、前月と同じ+2.3%となり、引き続き政府の年間目標である+3.5%を大きく下回っています。
- 7月の貿易収支黒字額は473億米ドルで、前月の317億米ドルから拡大し、市場予想の274億米ドルを大きく上回りました。

実質GDP成長率(前年同期比)



HSBC製造業購買担当者指数(PMI)



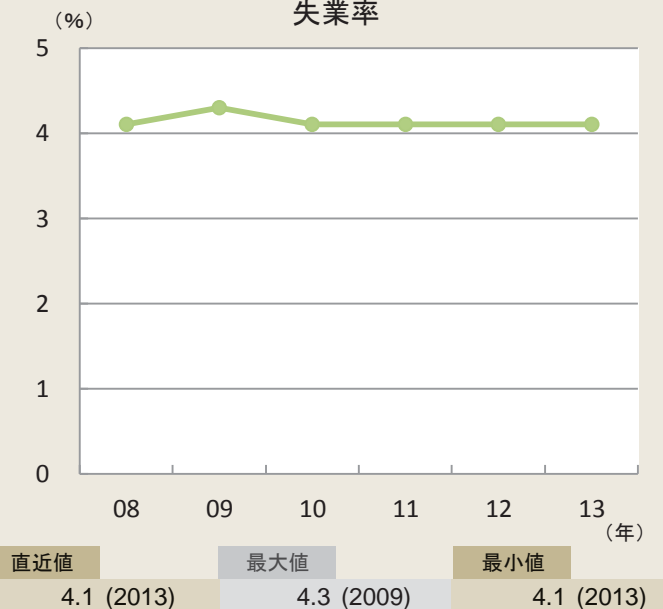
消費者物価指数(前年同月比)

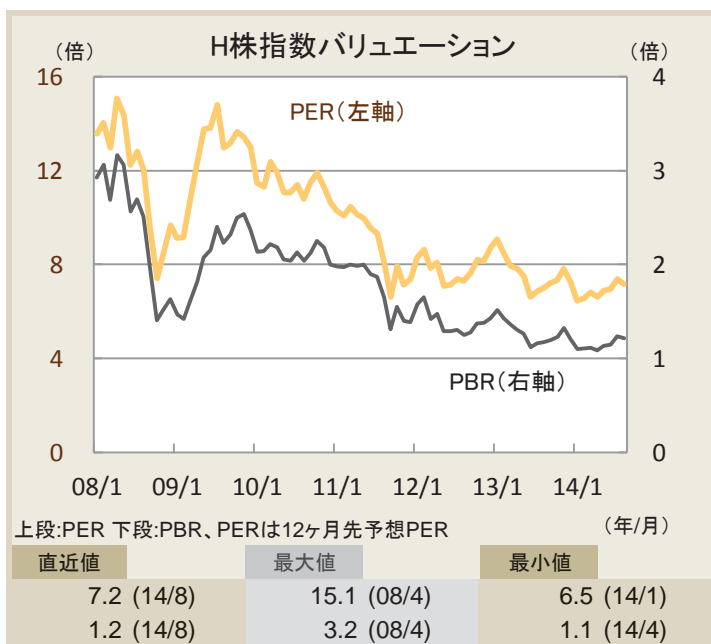
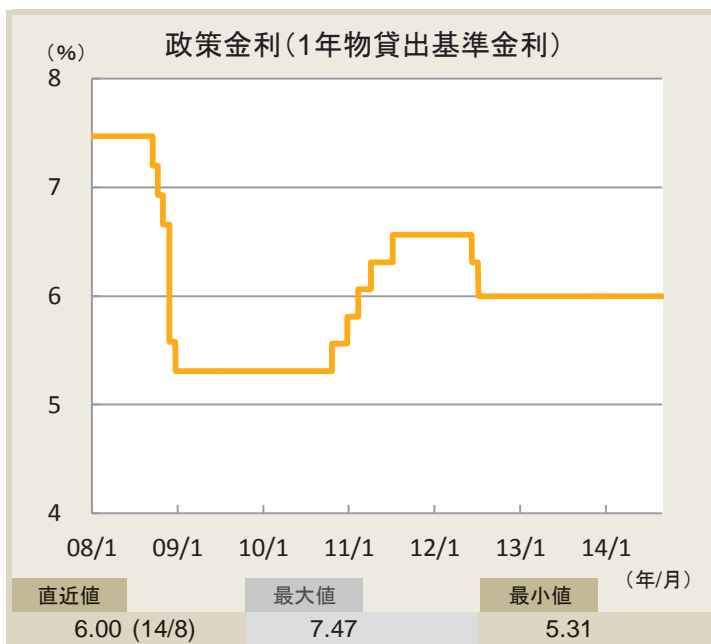
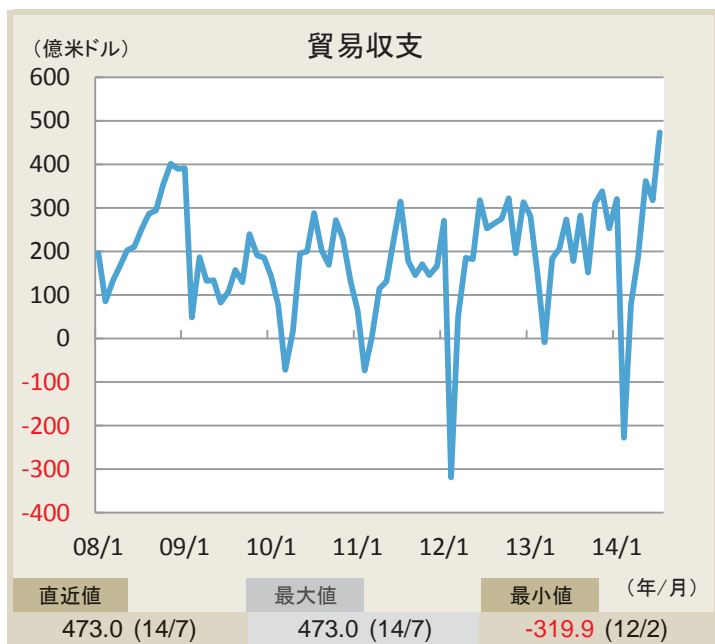


小売売上高(前年同月比)

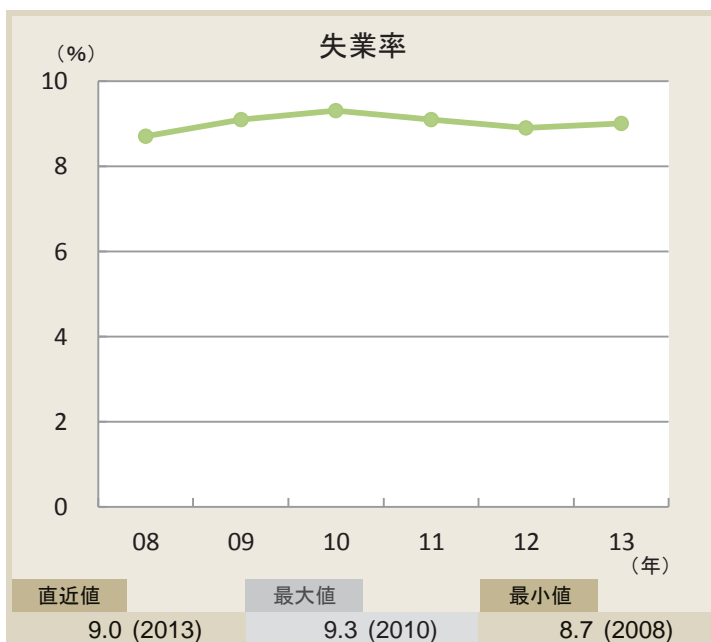
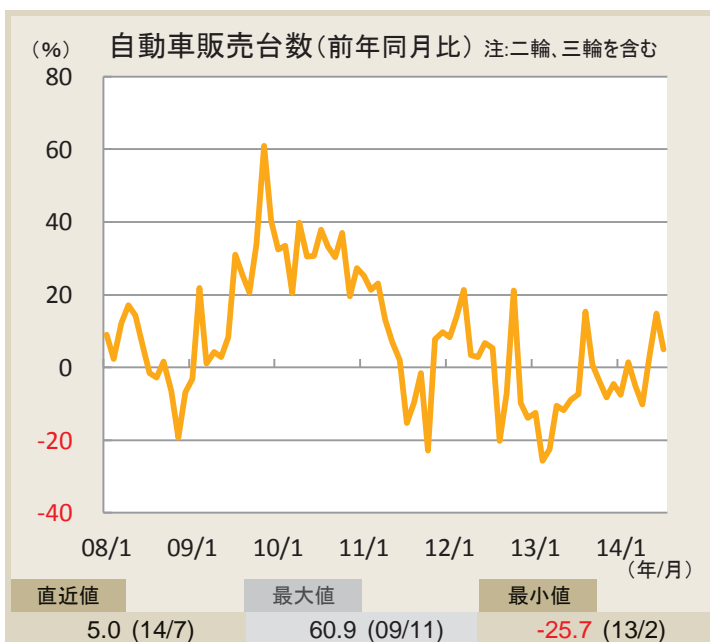
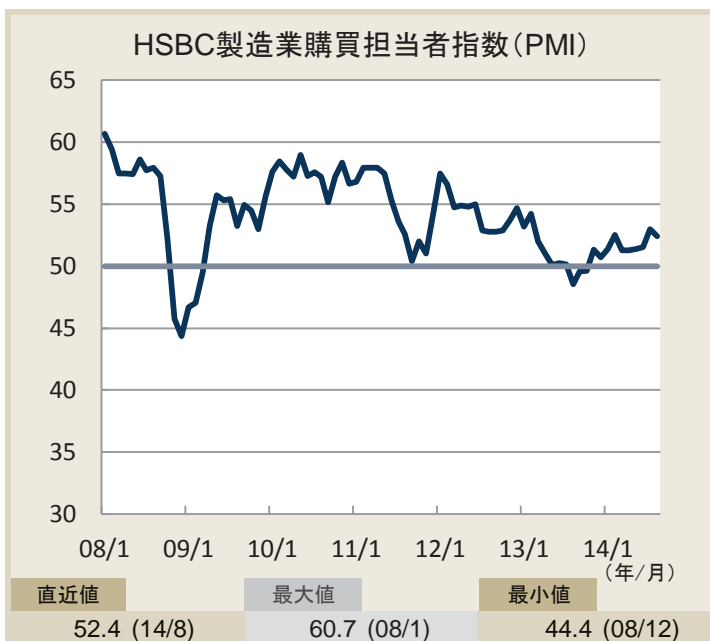
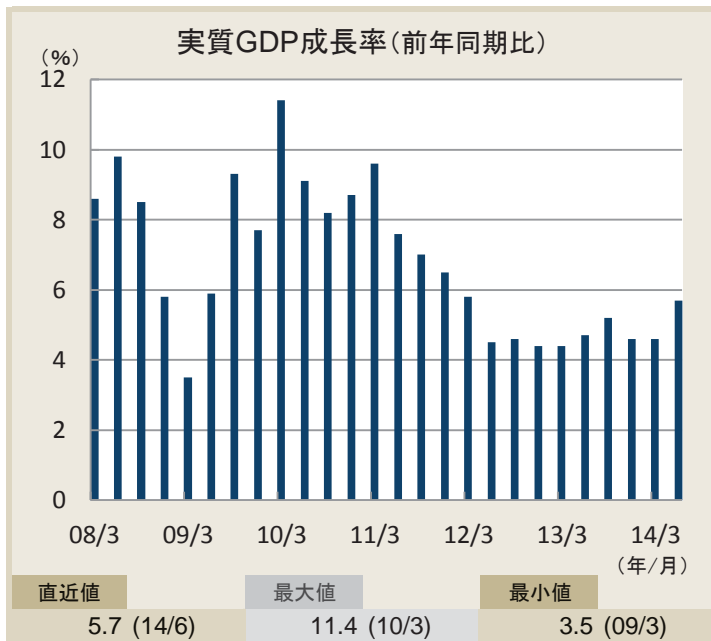


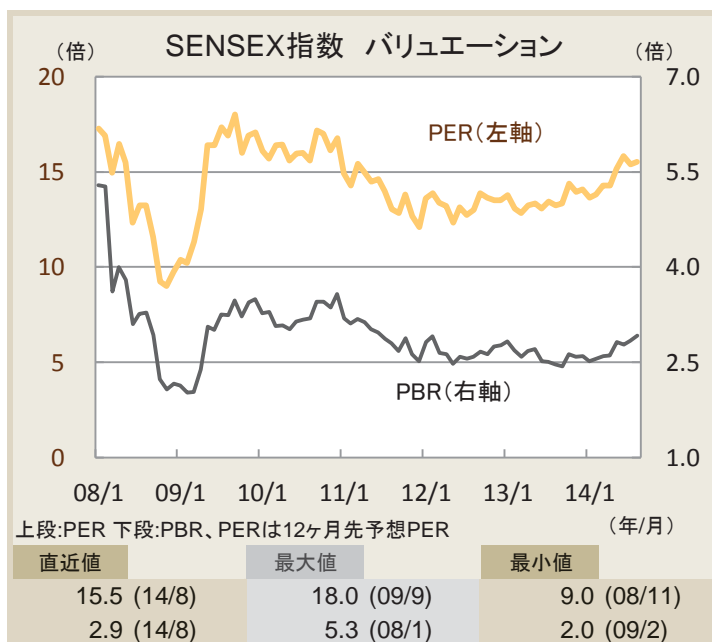
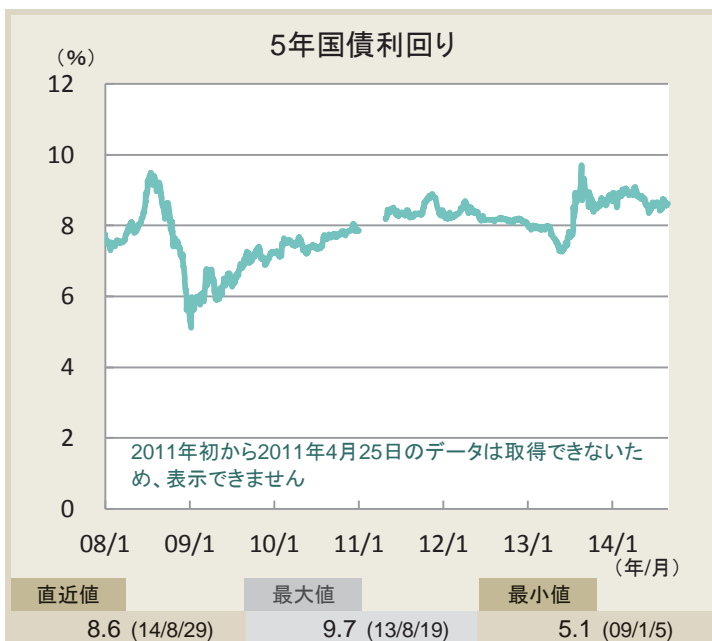
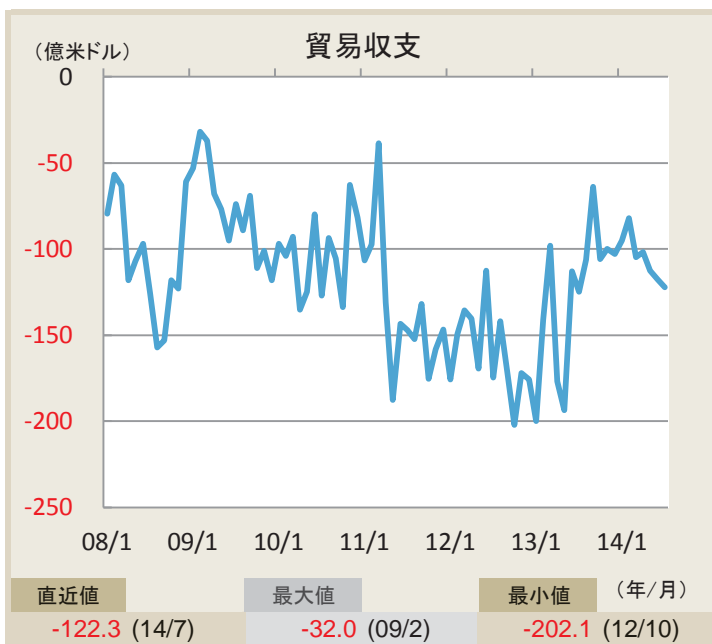
失業率





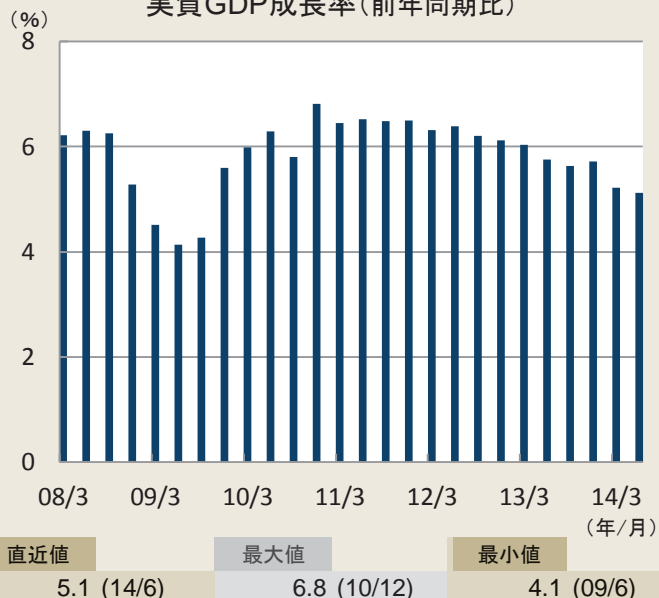
- 4-6月期の実質国内総生産(GDP)成長率は前年同期比+5.7%となり、1-3月期の+4.6%から上昇しました。モディ政権の発足を背景に景況感が改善し、企業の設備投資が拡大しています。
- 7月の消費者物価指数は前年同月比+8.0%と6月の+7.5%から上昇しました。食料品価格の上昇が指数全体を押し上げています。
- 7月の自動車販売台数は前年同月比+5.0%となり、6月の+14.8%から伸び率が低下しました。



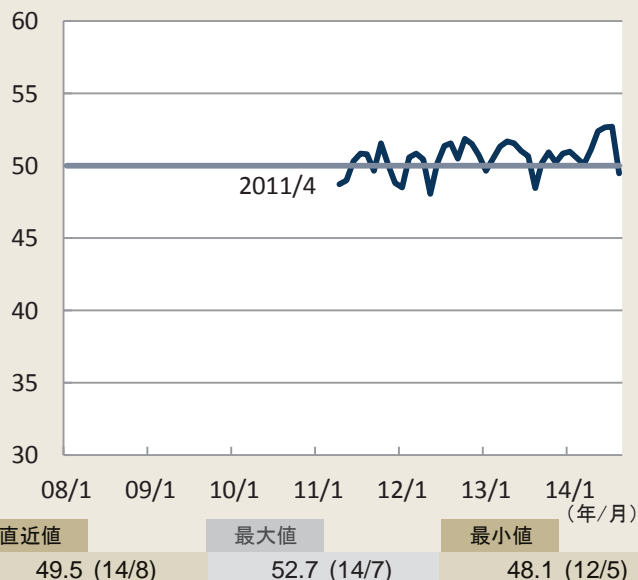


- インフレ指標は改善を示し、8月の消費者物価指数は前年同月比+4.0%と7月の+4.5%から上昇率は低下しました。
- 7月の貿易収支は輸入の減少から2ヶ月振りに黒字に転じ、黒字額は1億2,370万米ドルでした。
- 中央銀行は8月14日の金融政策決定会合で、2013年6月以降、合計1.75%の利上げ効果を見極めるため、市場の予想通り、政策金利を7.5%に据え置きました。

### 実質GDP成長率(前年同期比)



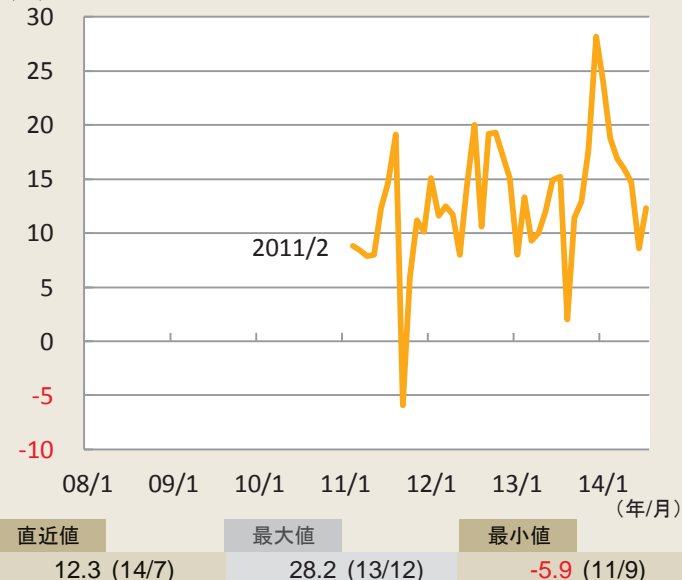
### HSBC製造業購買担当者指数(PMI)



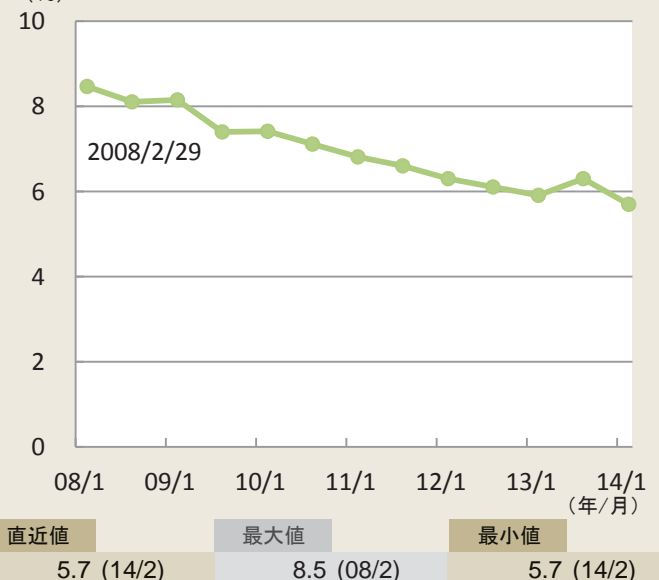
### 消費者物価指数(前年同月比)



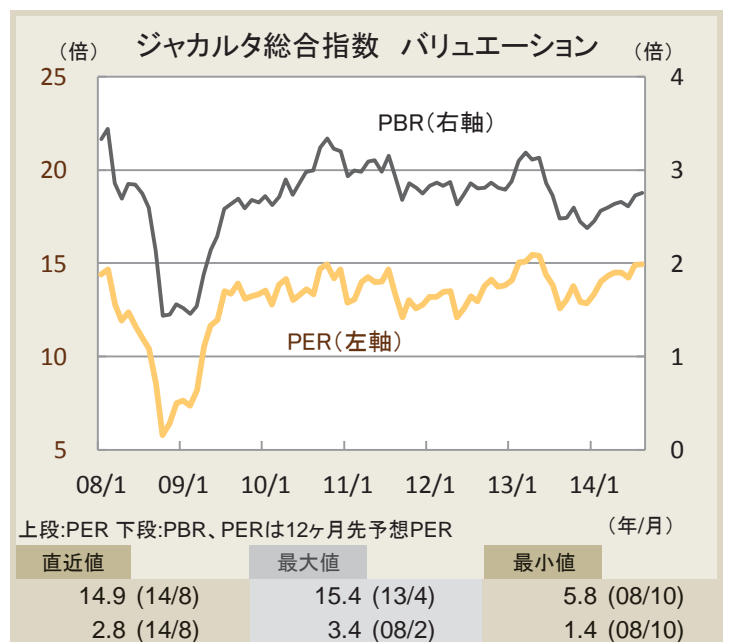
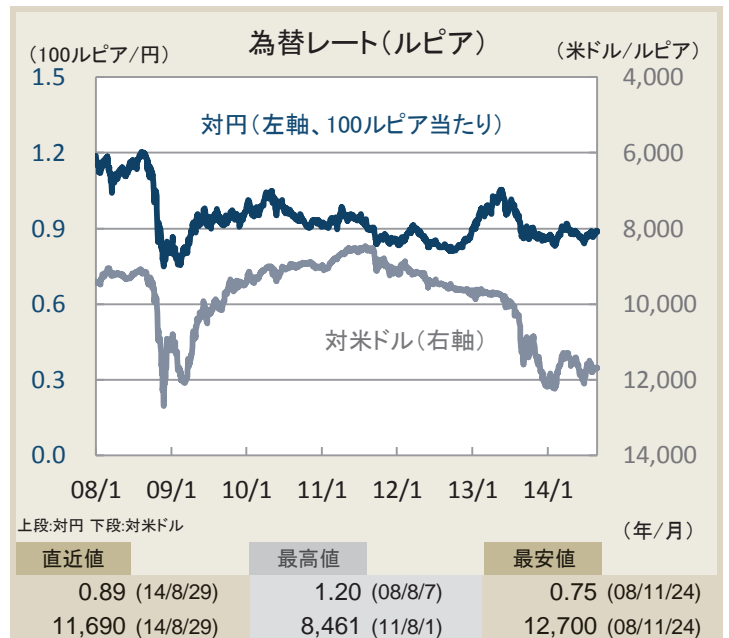
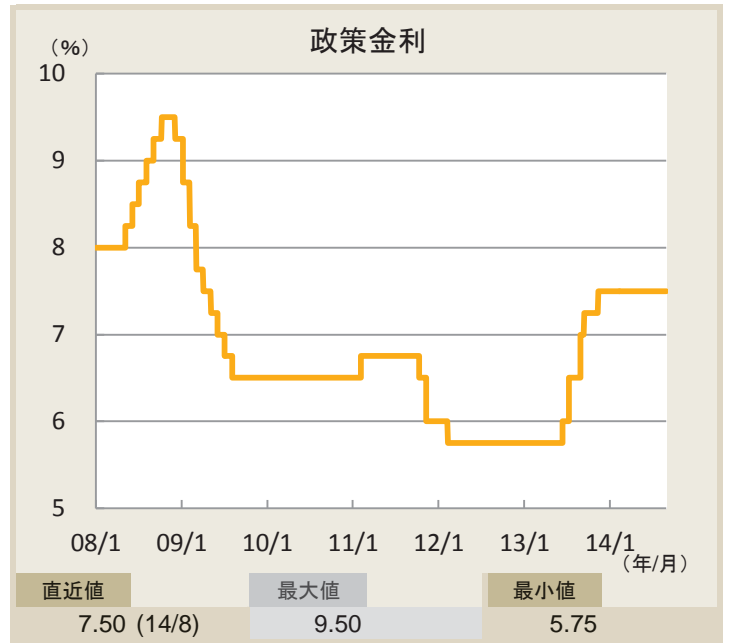
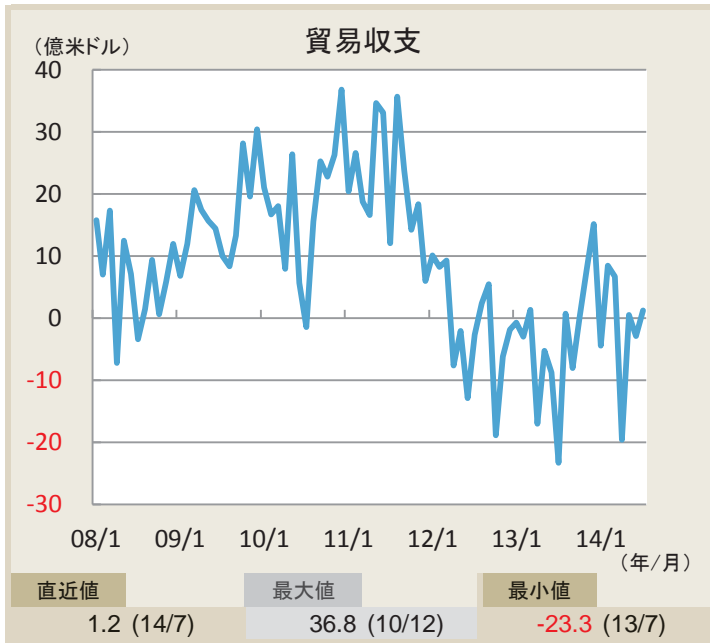
### 小売売上高(前年同月比)



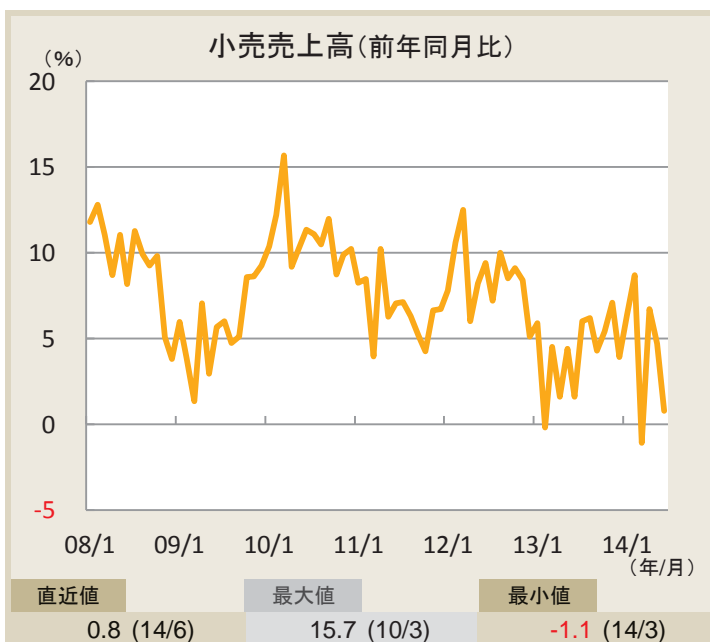
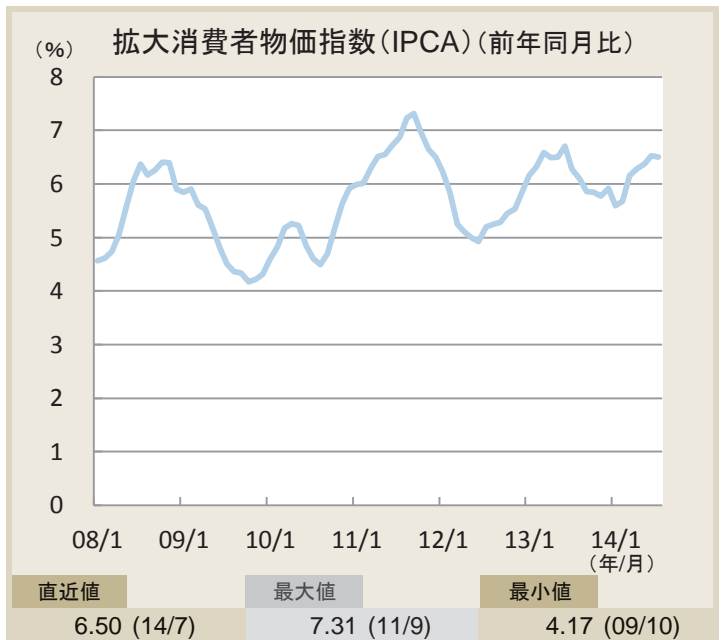
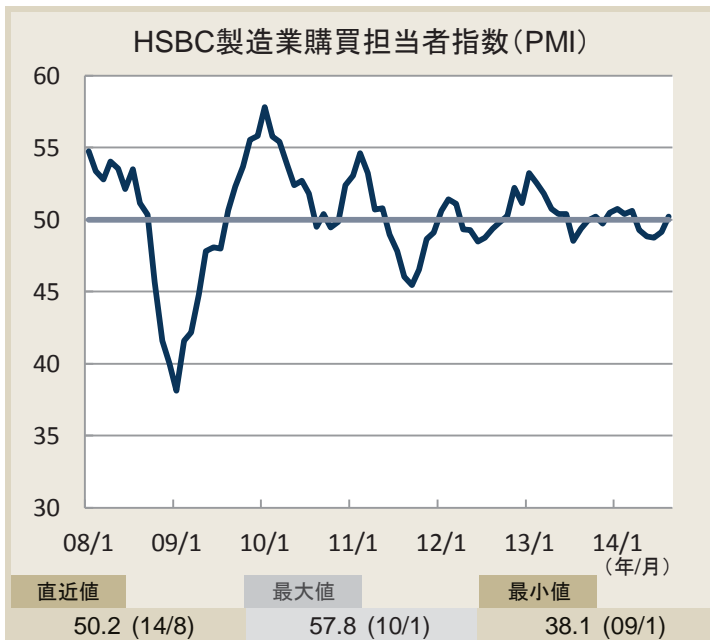
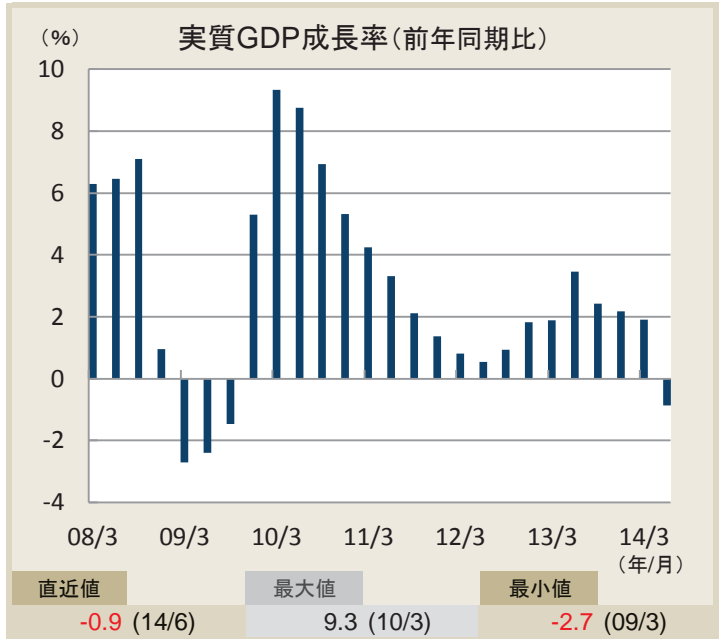
### 失業率

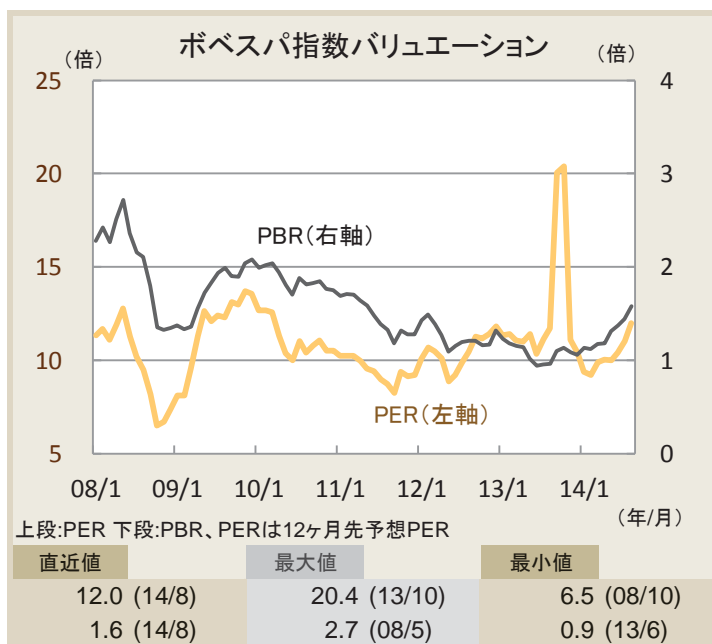
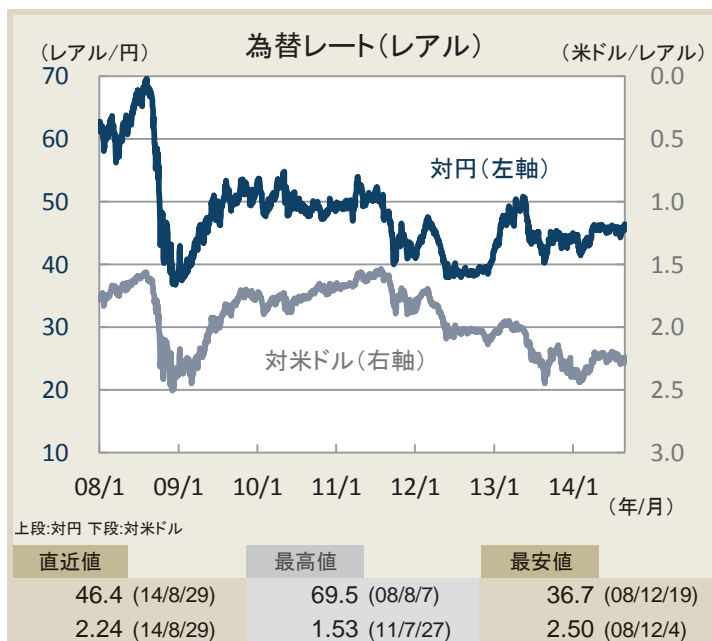
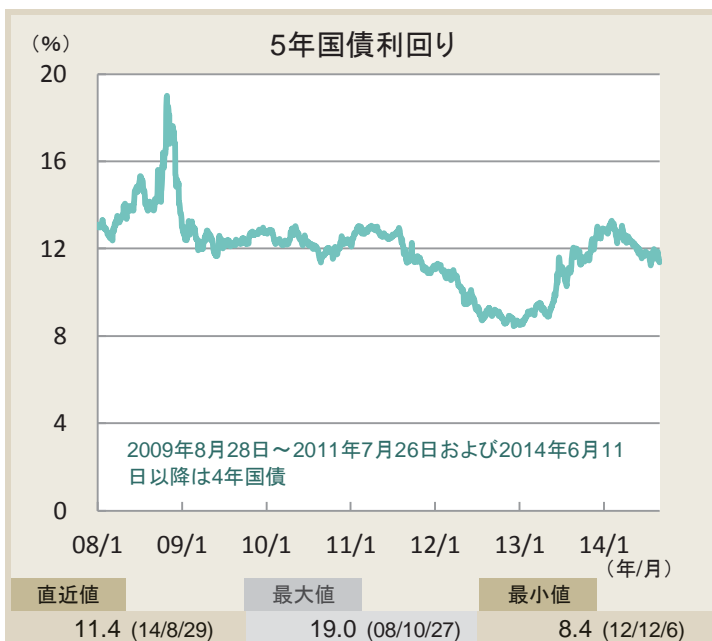
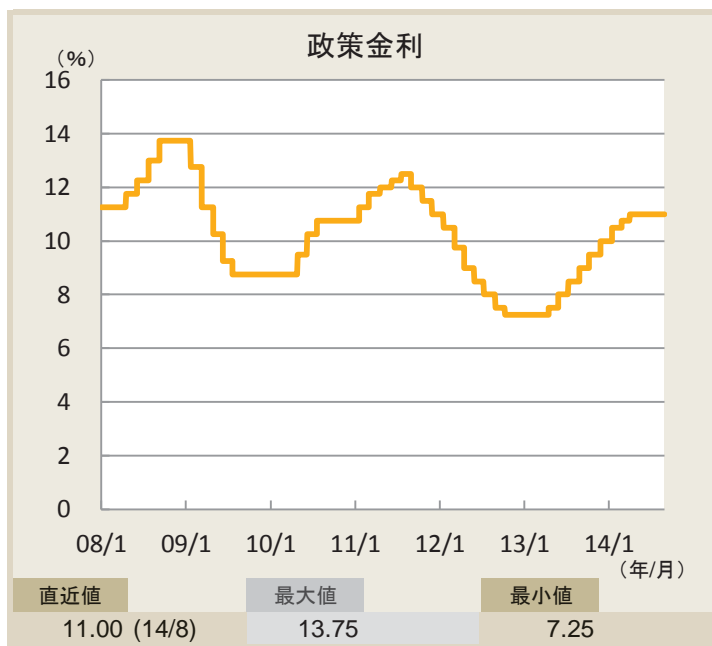
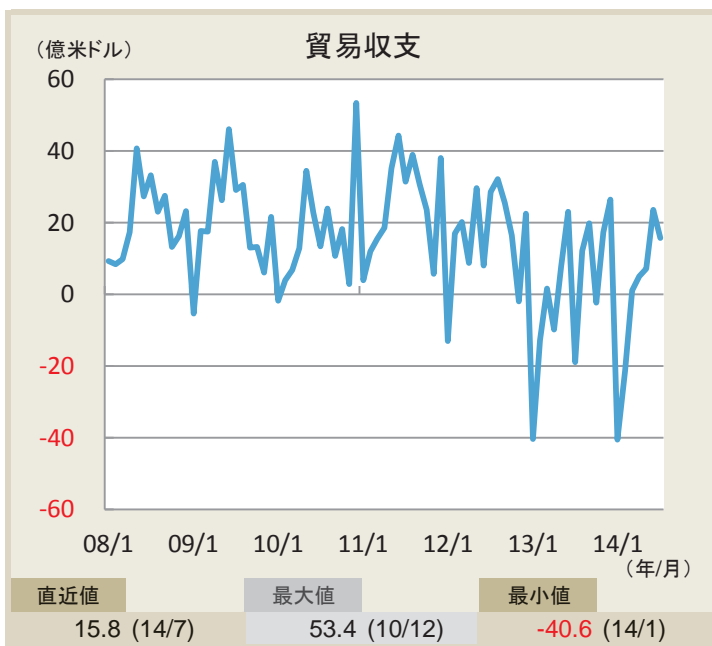




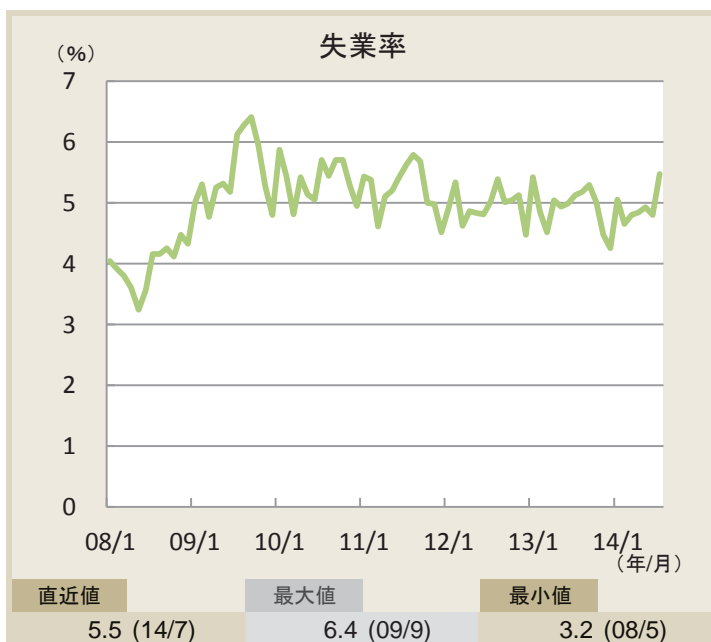
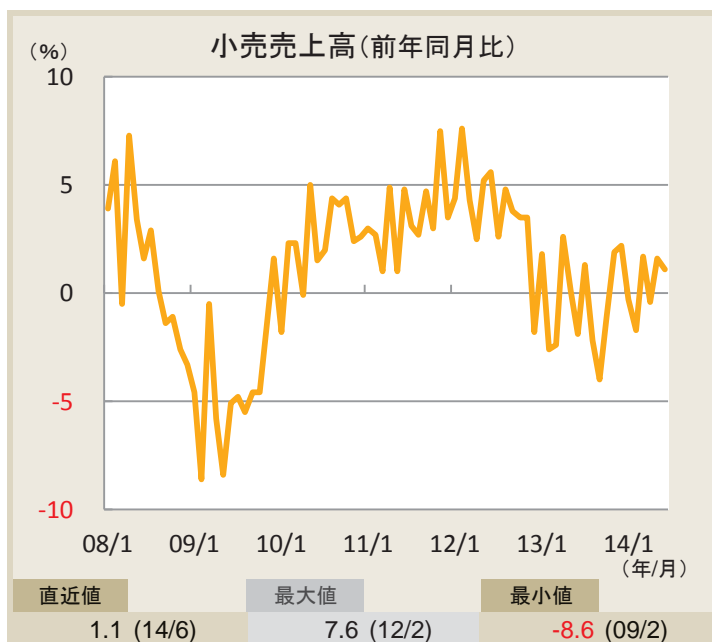
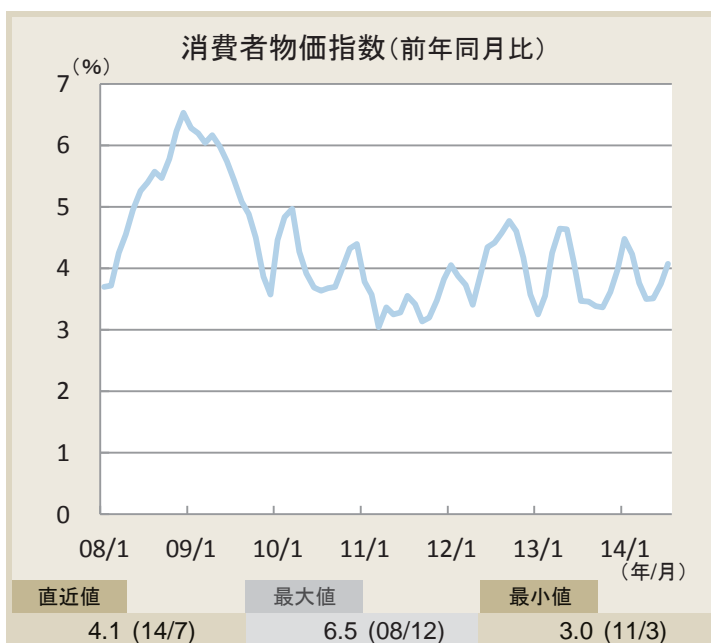
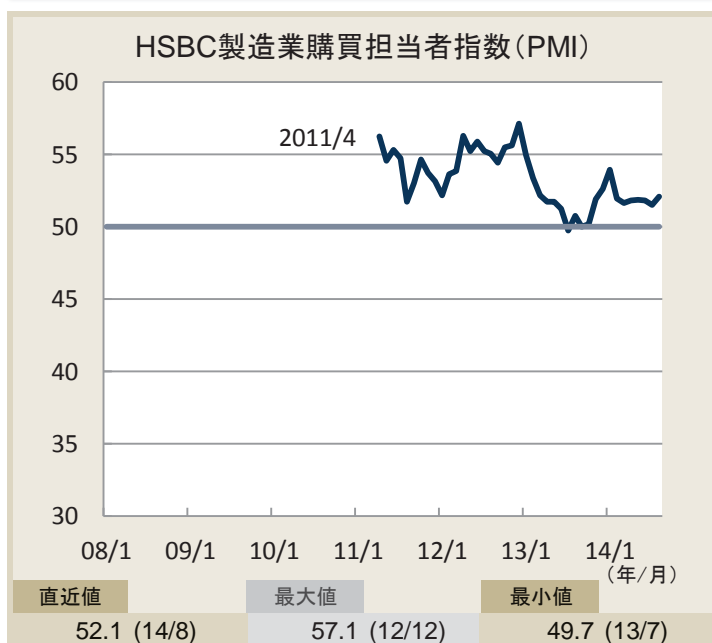
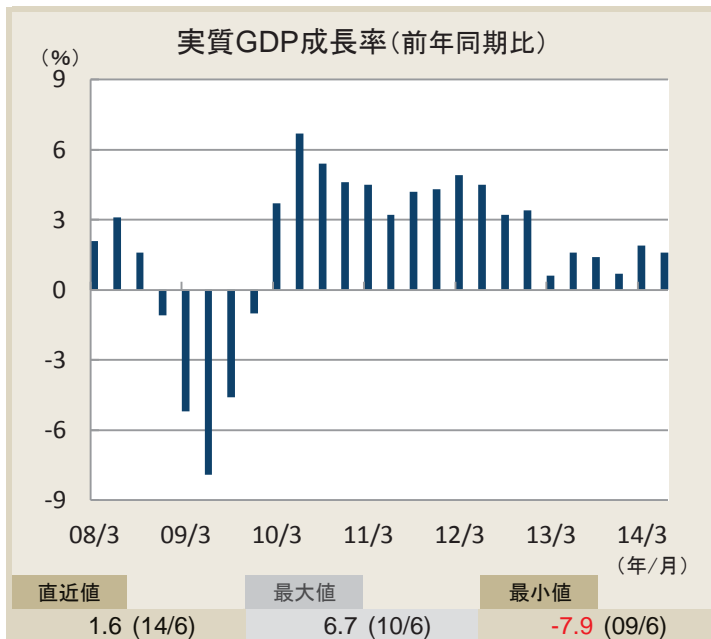


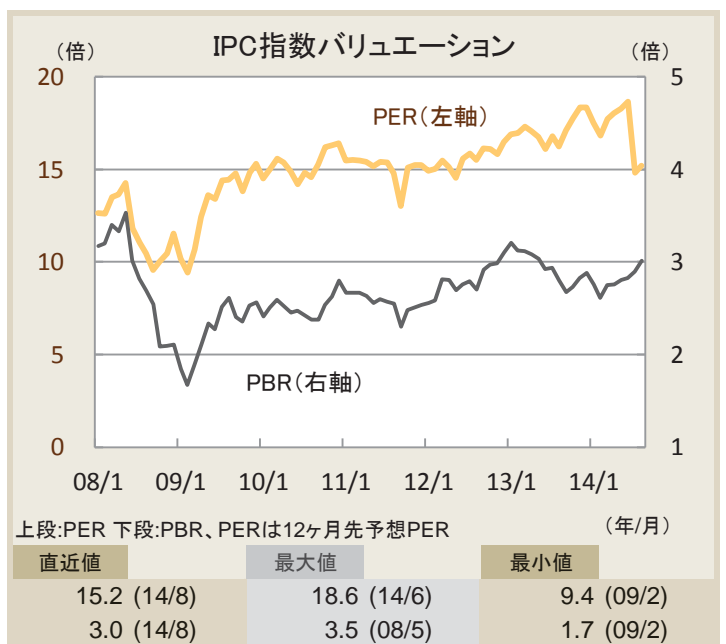
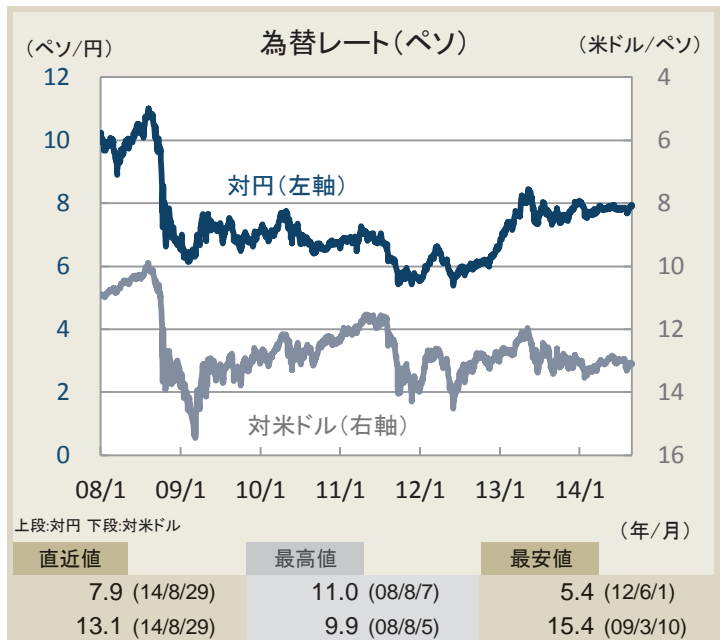
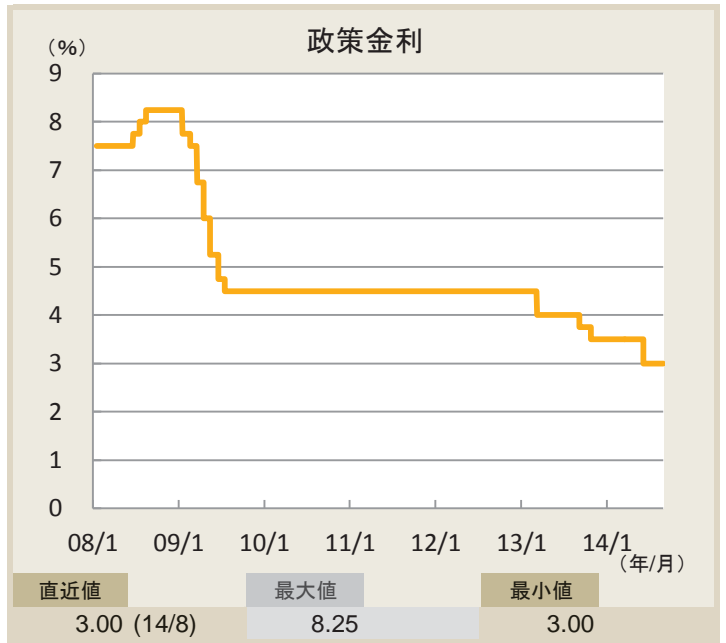
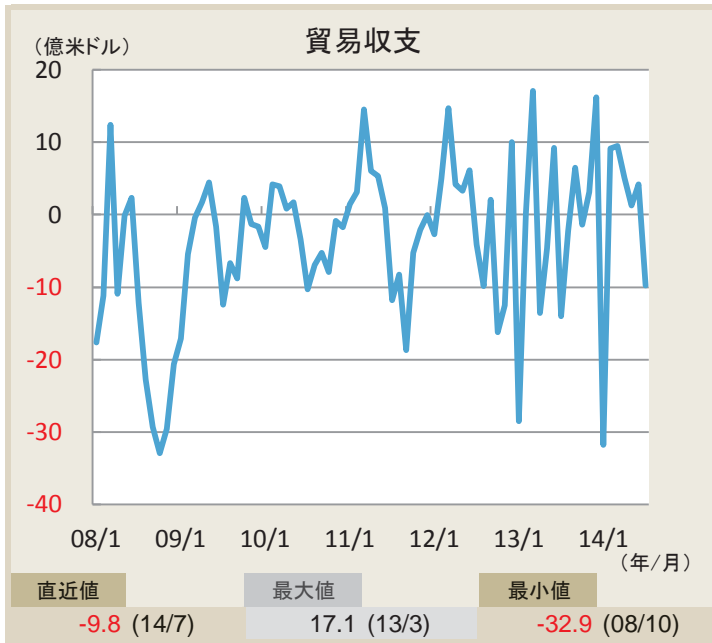
- 4-6月期の実質国内総生産(GDP)成長率は、前年同期比-0.9%となり、1-3月期の+1.9%からマイナスに転じました。固定資本投資が大きく落ち込んでいます。
- 6月の小売売上高は前年同月比+0.8%となり、5月の+4.7%から伸び率が低下しました。
- 7月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前年同月比+6.5%となり6月とほぼ同水準でした。食料品・飲料価格の上昇が指数全体を押し上げています。



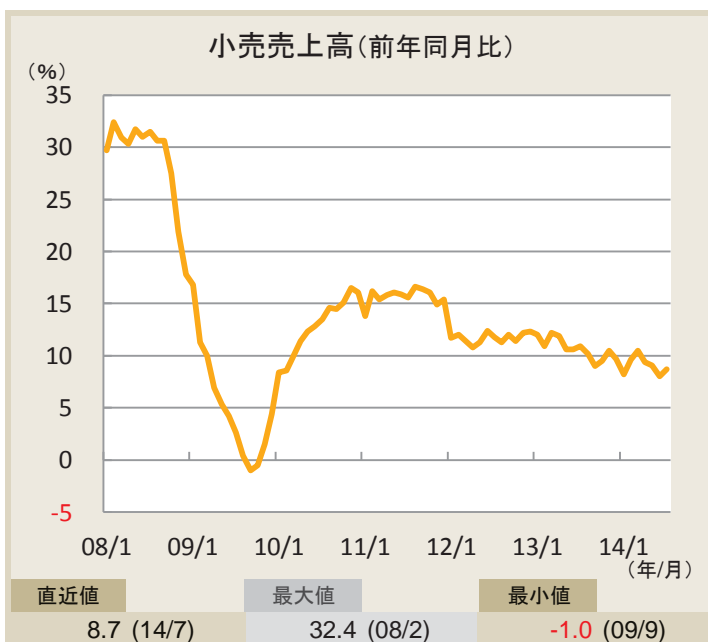
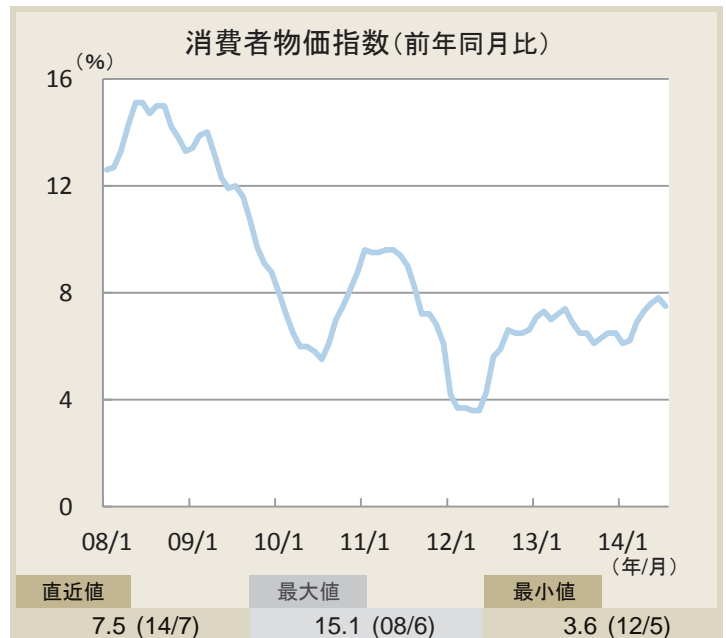
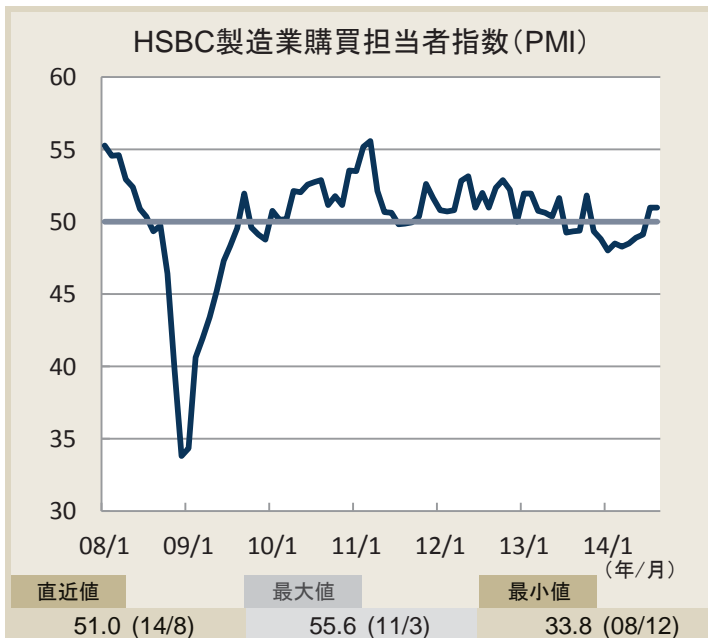
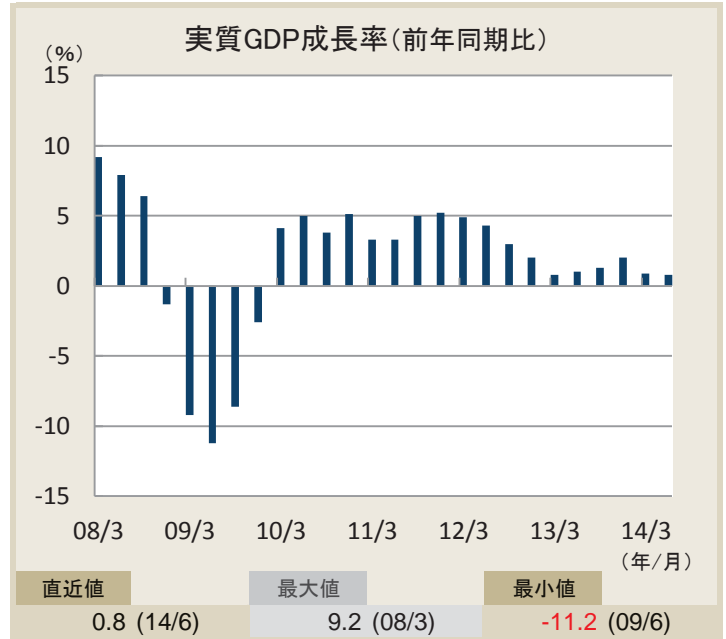


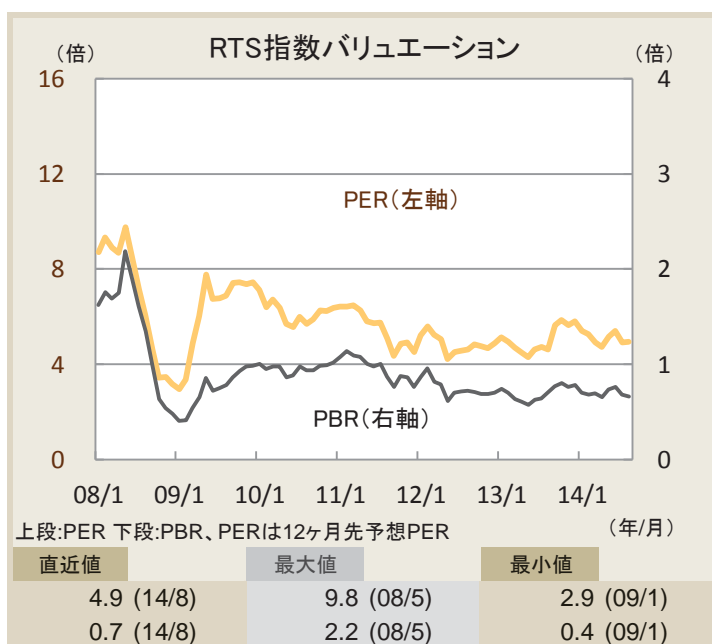
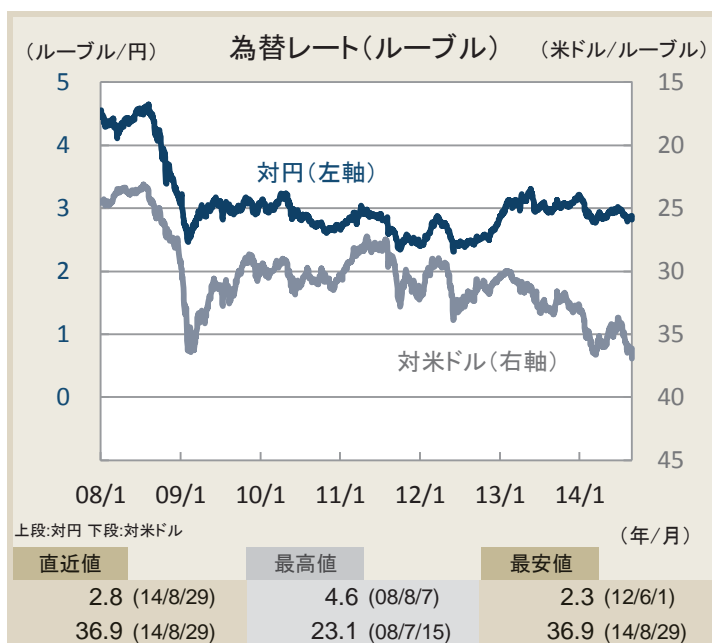
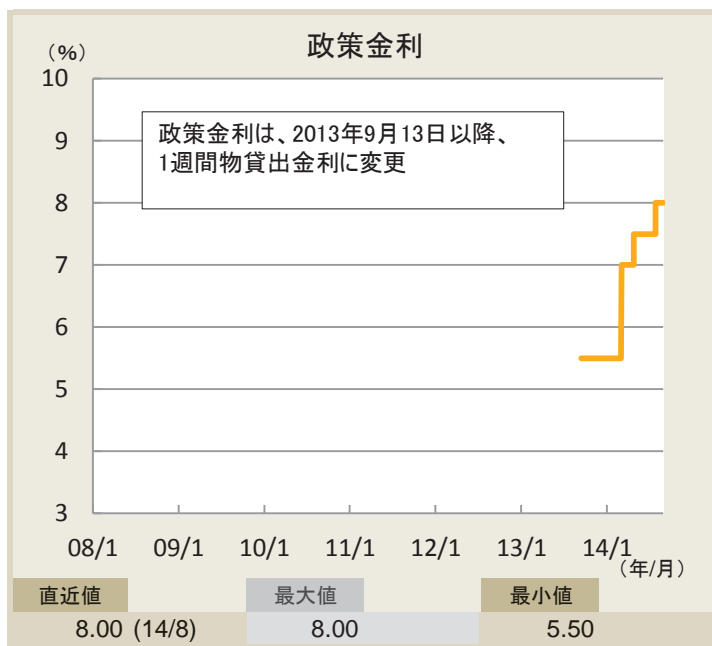
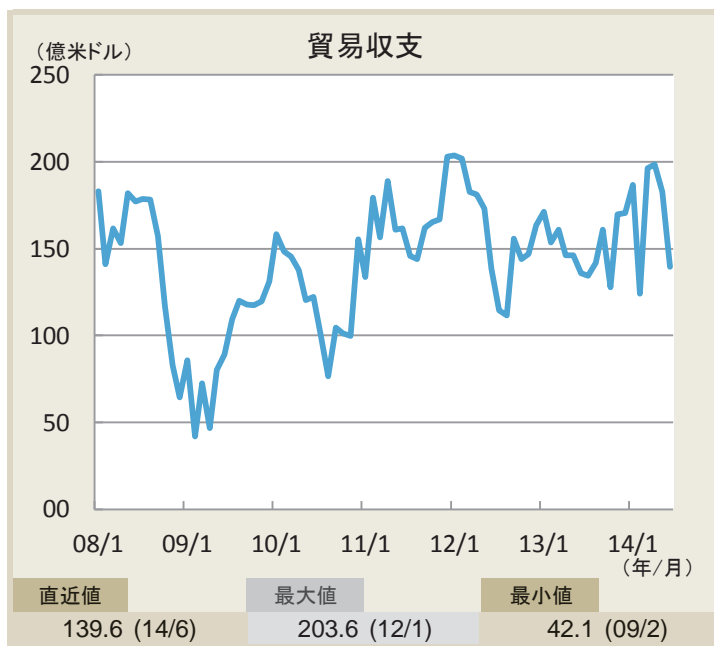
- 4-6月期の実質国内総生産(GDP)成長率は前年同期比で+1.6%と、市場予想の+1.5%を上回りました。前四半期の+1.9%から鈍化しましたが、昨年は3月であったイースター休暇が今年は4月であったことが影響しています。
- 7月の消費者物価指数は、前年同月比で+4.1%と前月の+3.8%から上昇し、5ヶ月振りに中央銀行の目標レンジ(+2~4%)の上限を上回りました。
- 7月の貿易収支赤字額は9.8億米ドルと、市場予想の8.5億米ドルを上回りました。赤字となるのは6ヶ月振りとなります。





- 4-6月期の実質国内総生産(GDP)成長率は前年同期比+0.8%と前半期の+0.9%から僅かながら減速しました。
- 7月の消費者物価指数は前年同月比+7.5%と6月の+7.8%から上昇率は低下しました。ロシア政府は、8月7日、ウクライナの内紛に絡んだ米欧の対ロシア制裁の対抗措置として、米欧からの農産物や食品の輸入禁止を発表したことから、今後、急速な物価上昇を招く可能性が出てきました。
- 7月の失業率は3ヶ月連続して4.9%となり、同国としては比較的 low水準に留まっています。



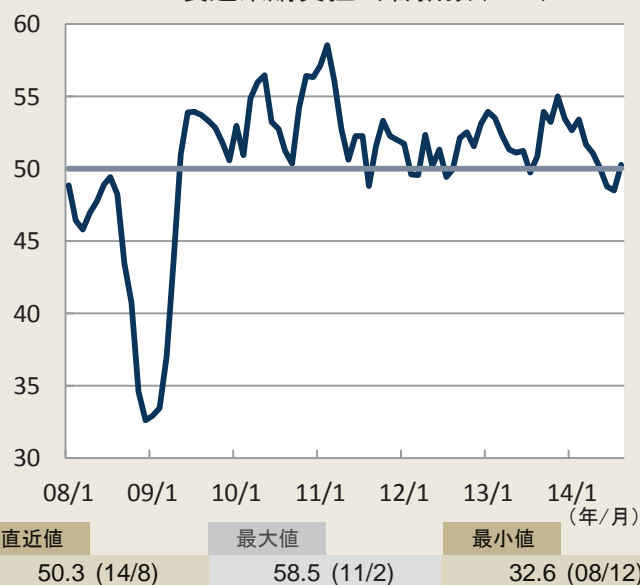


- 7月の消費者物価指数は前年同月比で+9.3%と、6月の+9.2%から僅かながら上昇し、市場予想の+8.9%を上回りました。
- 7月の貿易収支赤字額は65億米ドルと、市場予想の76億米ドルを下回り、4ヶ月振りの低水準となりました。
- トルコ共和国中央銀行は、27日の金融政策決定会合で主要政策金利の1週間物レポレートを、大方の市場予想通り、8.25%で据え置きました。

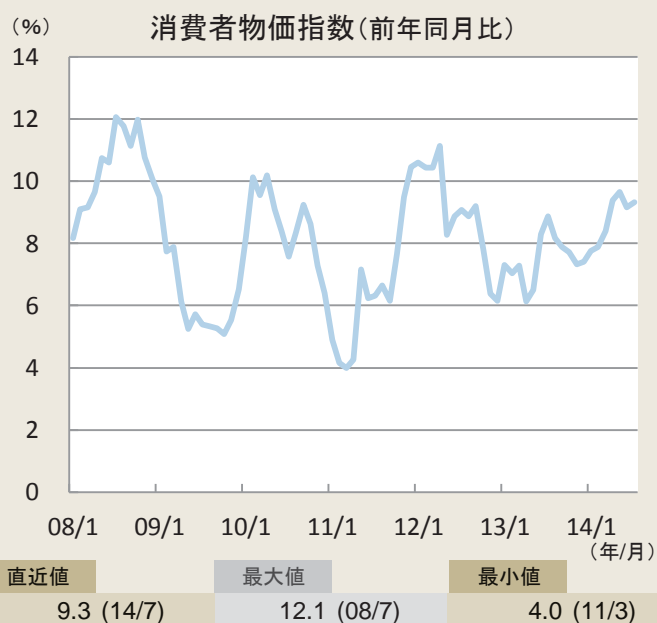
実質GDP成長率(前年同期比)



HSBC製造業購買担当者指数(PMI)



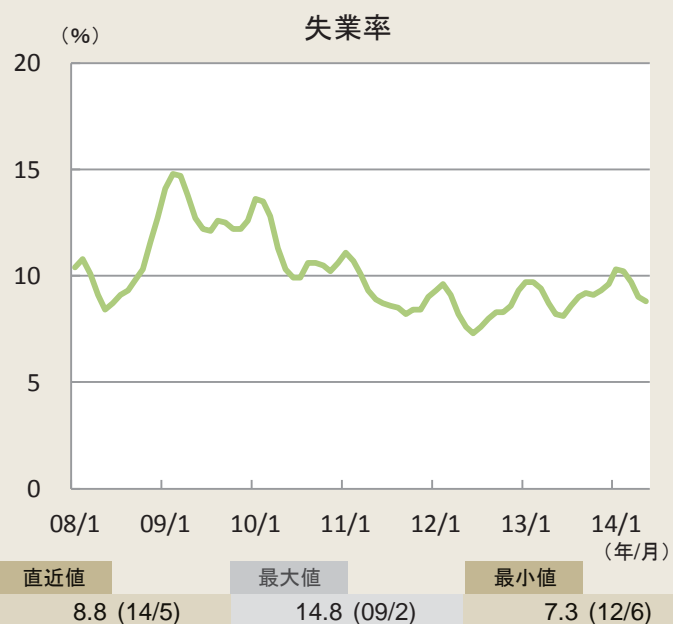
消費者物価指数(前年同月比)



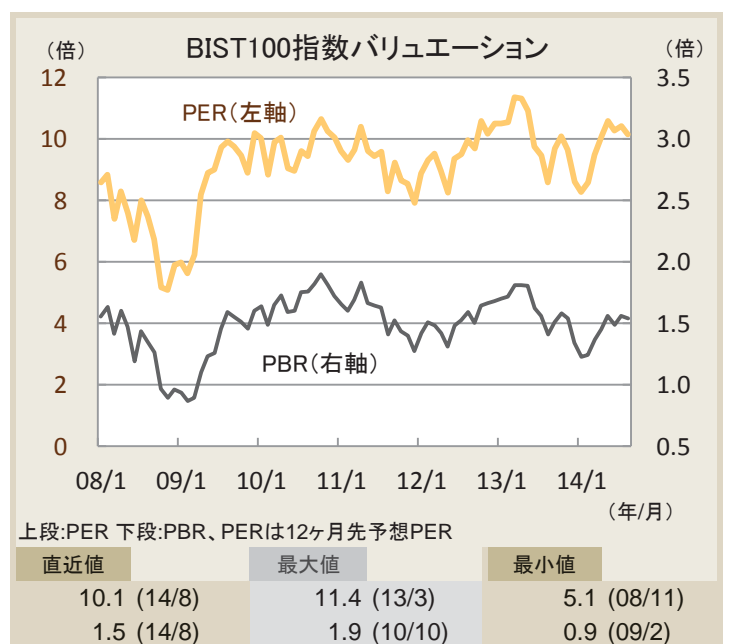
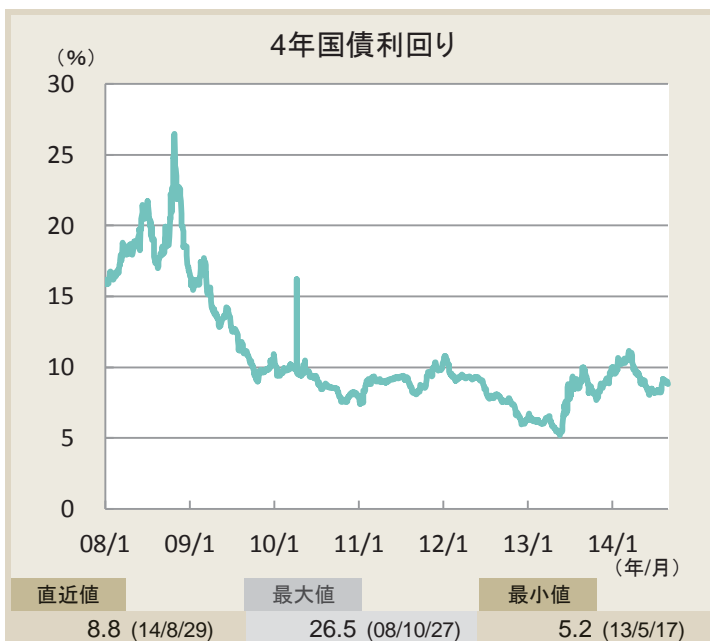
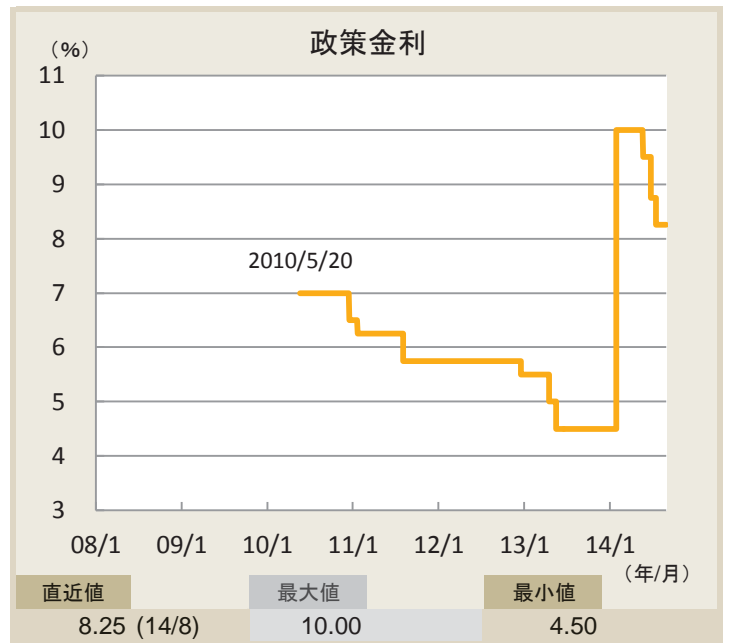
消費者信頼感指数



失業率

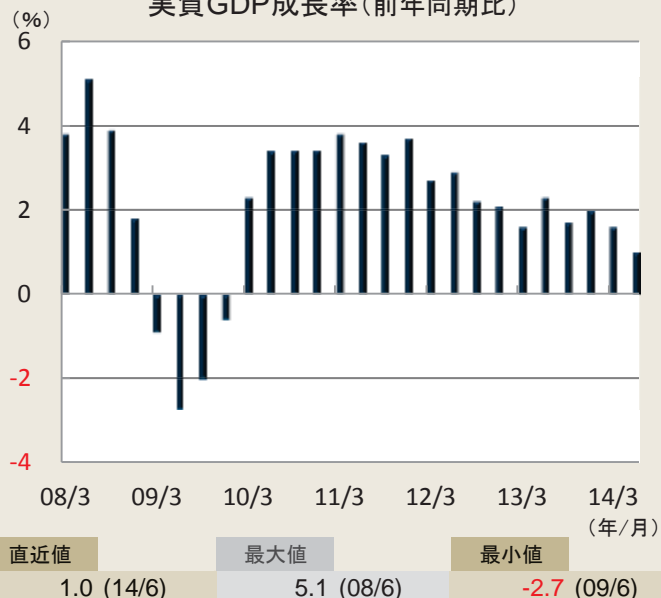






- 4-6月期の実質国内総生産(GDP)成長率は前年同期比で+1.0%と、市場予想の+1.2%を下回り、2009年10-12月期以来の低水準となりました。今年1月下旬から5ヶ月間続いたプラチナ鉱山でのストライキなどが景気低迷の要因となりました。
- 7月の消費者物価指数は前年同月比で+6.3%と、4ヶ月連続で南アフリカ準備銀行(中央銀行)の目標レンジ(3~6%)の上限を上回りましたが、市場予想の+6.4%を僅かながら下回りました。

### 実質GDP成長率(前年同期比)



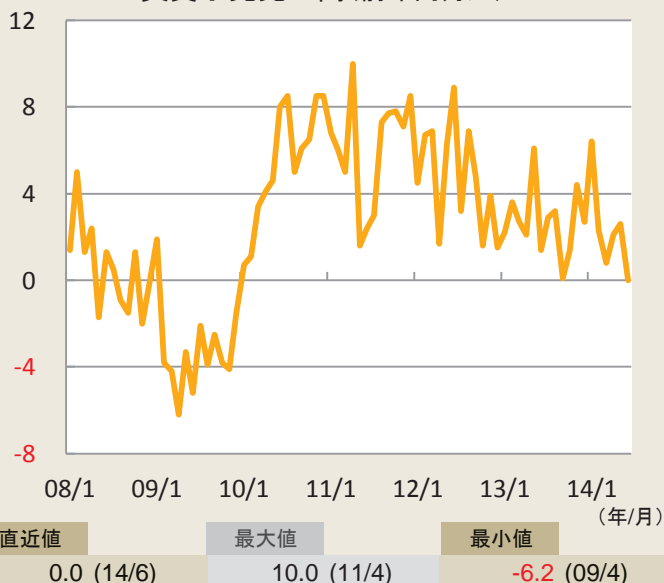
### HSBC購買担当者指数(PMI)



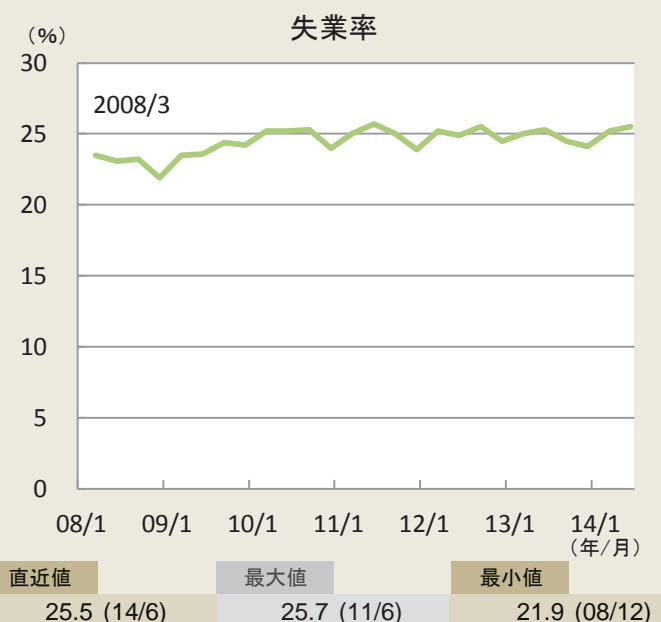
### 消費者物価指数(前年同月比)

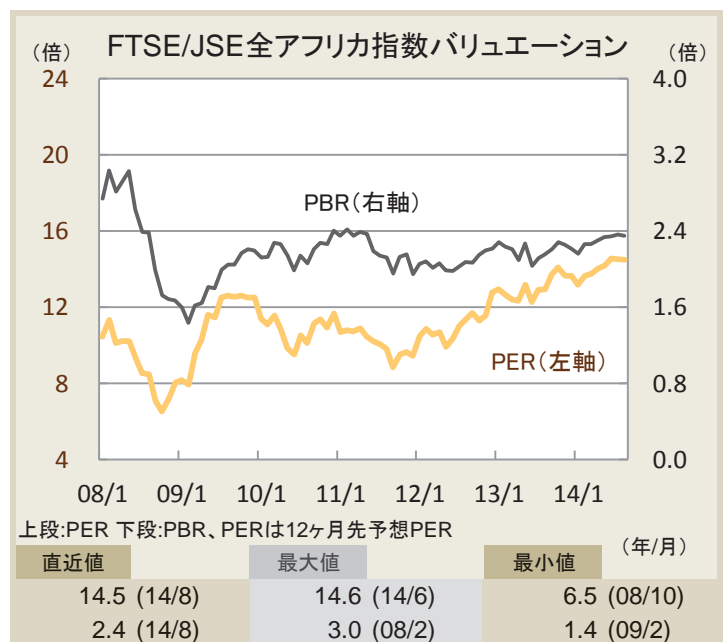
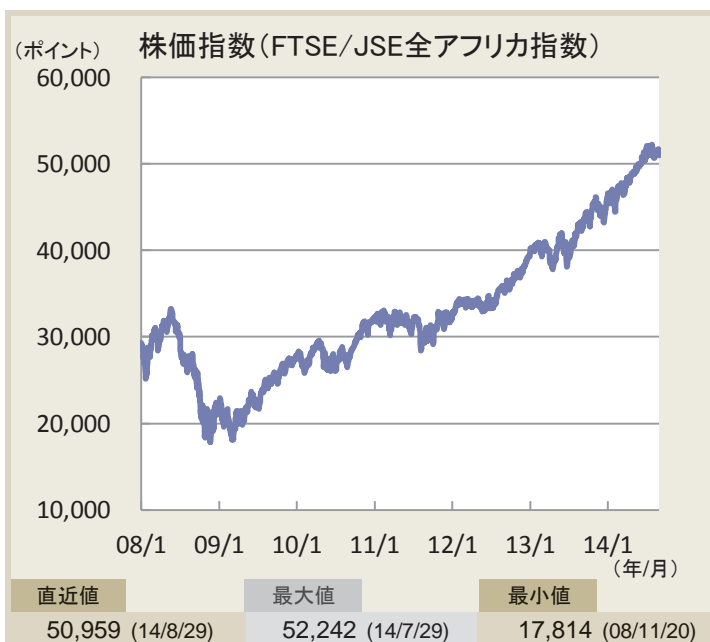
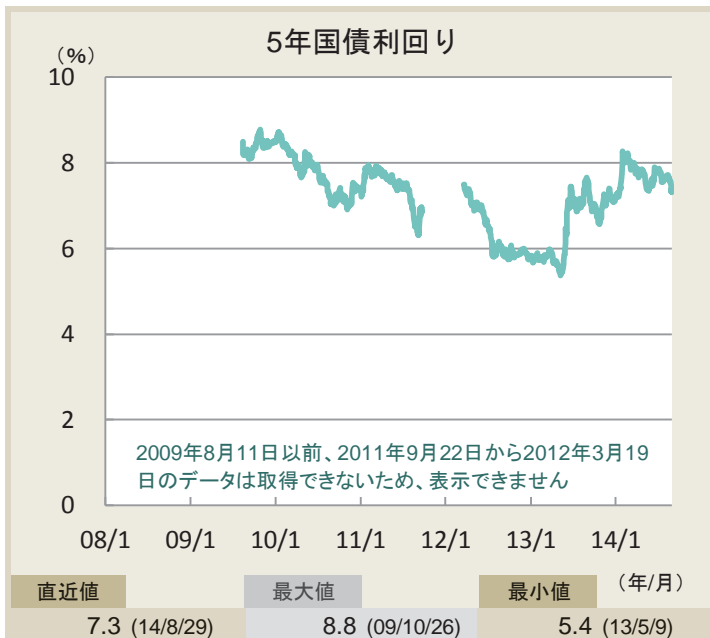
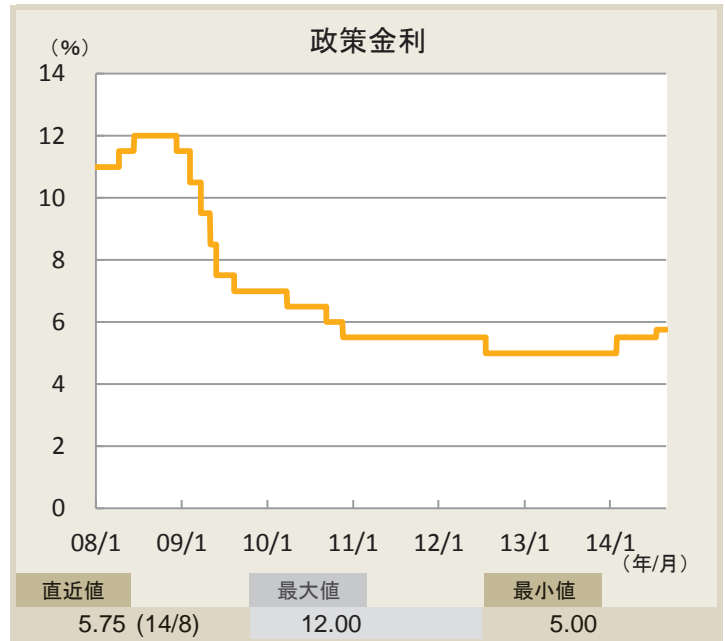
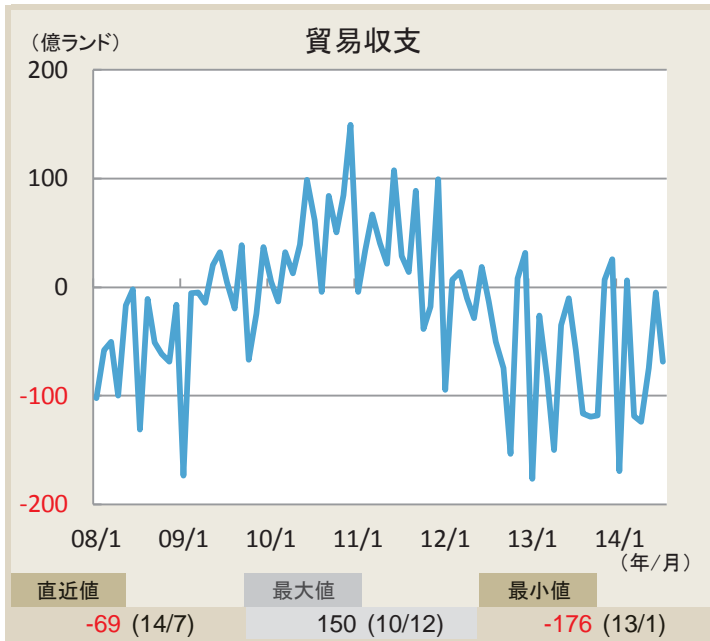


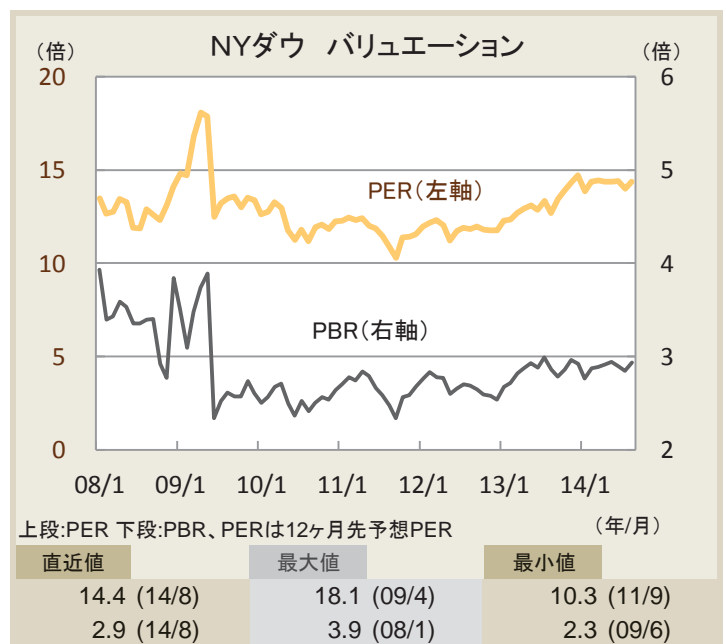
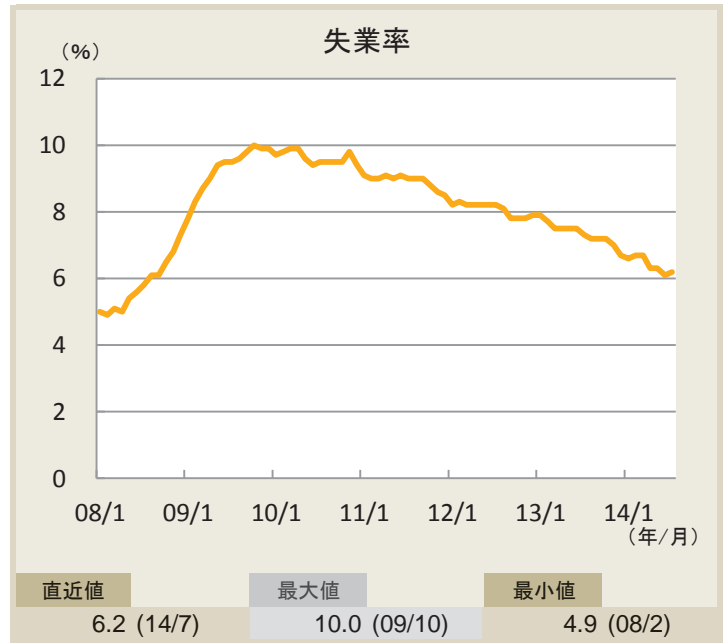
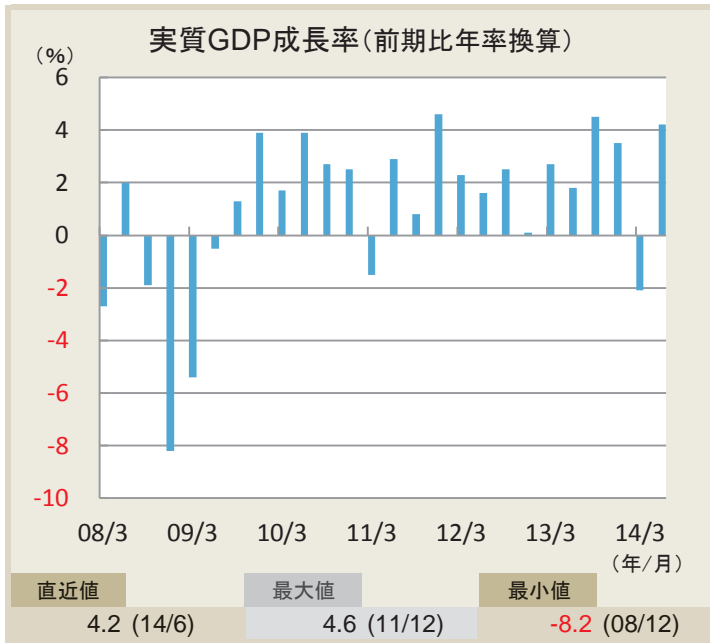
### 実質小売売上高(前年同月比)

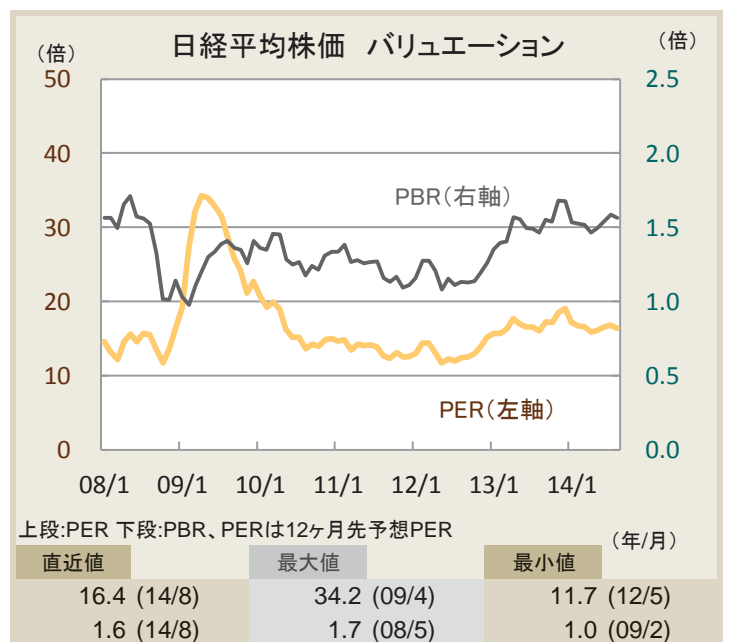
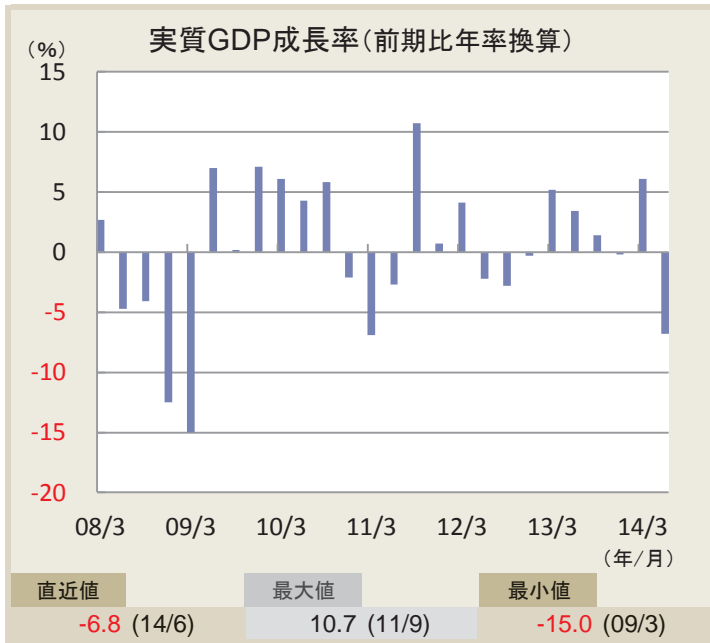


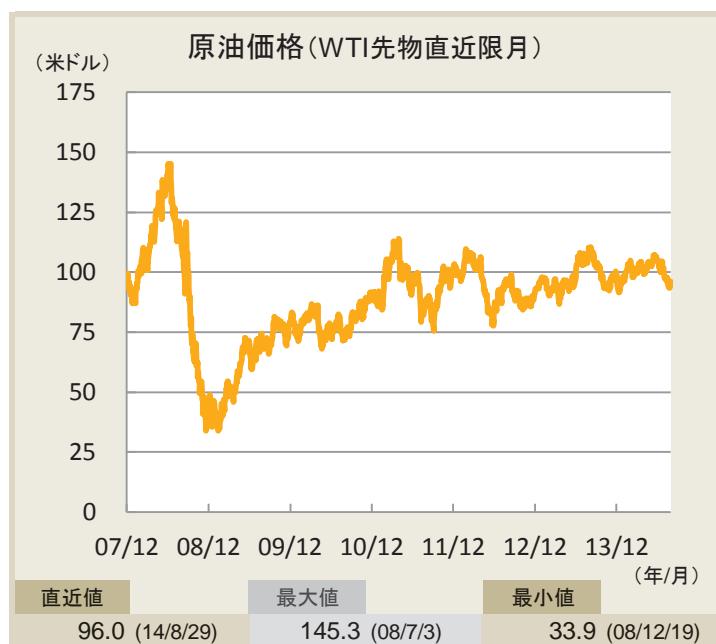
### 失業率











月間イベントスケジュール

日付	国・地域	イベント
9月2～3日	ブラジル	金融政策委員会
9月3～4日	日本	金融政策決定会合
9月4日	欧州	欧州中央銀行(ECB)政策理事会
9月5日	メキシコ	金融政策委員会
9月11日	インドネシア	金融政策決定会合
9月12日	ロシア	金融政策委員会
9月16～17日	米国	連邦公開市場委員会(FOMC)
9月17日	欧州	欧州中央銀行(ECB)政策理事会
9月16～18日	南アフリカ	金融政策委員会
9月20～21日	G20	G20財務相・中央銀行総裁会議 (オーストラリア・ケアンズ)
9月25日	トルコ	金融政策委員会
9月30日	インド	金融政策決定会合

出所:ブルームバーグなど

# ご参考

## 実質国内総生産成長率(前年同期比、米国および日本は前期比年率換算、%)

	中国	インド	インドネシア	ブラジル	メキシコ	ロシア	トルコ	南アフリカ	米国	日本
12年Q3	7.4	4.6	6.2	0.9	3.2	3.0	1.5	2.2	2.5	-2.8
12年Q4	7.9	4.4	6.1	1.8	3.4	2.0	1.3	2.1	0.1	-0.3
13年Q1	7.7	4.4	6.0	1.9	0.6	0.8	2.9	1.6	2.7	5.2
13年Q2	7.5	4.7	5.8	3.5	1.6	1.0	4.5	2.3	1.8	3.4
13年Q3	7.8	5.2	5.6	2.4	1.4	1.3	4.3	1.7	4.5	1.4
13年Q4	7.7	4.6	5.7	2.2	0.7	2.0	4.4	2.0	3.5	-0.2
14年Q1	7.4	4.6	5.2	1.9	1.9	0.9	4.3	1.6	-2.1	6.1
14年Q2	7.5	5.7	5.1	-0.9	1.6	0.8		1.0	4.2	-6.8

注：「Q」は四半期、暦年ベース

## 小売売上高(前年同月比、%)

	中国	インド	インドネシア	ブラジル	メキシコ	ロシア	トルコ	南アフリカ	米国	日本
13年12月	13.6	N/A	28.2	3.9	2.2	9.7	N/A	2.7	3.4	2.5
14年1月			24.0	6.4	-0.3	8.2		6.4	1.8	4.4
14年2月			18.8	8.7	-1.7	9.6		2.3	1.6	3.6
14年3月	12.2		16.9	-1.1	1.7	10.5		0.8	4.1	11.0
14年4月	11.9		15.9	6.7	-0.4	9.4		2.1	4.7	-4.3
14年5月	12.5		14.7	4.7	1.6	9.1		2.6	4.6	-0.4
14年6月	12.4		8.6	0.8	1.1	8.0		0.0	4.3	-0.6
14年7月	12.2		12.3			8.7			3.7	0.5

注：中国は1・2月は単月としての数値無し

## 消費者物価指数(前年同月比、%)

	中国	インド	インドネシア	ブラジル	メキシコ	ロシア	トルコ	南アフリカ	米国	日本
14年1月	2.5	8.8	8.2	5.6	4.5	6.1	7.8	5.8	1.6	1.4
14年2月	2.0	8.0	7.8	5.7	4.2	6.2	7.9	5.9	1.1	1.5
14年3月	2.4	8.3	7.3	6.2	3.8	6.9	8.4	6.0	1.5	1.6
14年4月	1.8	8.6	7.3	6.3	3.5	7.3	9.4	6.1	2.0	3.4
14年5月	2.5	8.3	7.3	6.4	3.5	7.6	9.7	6.6	2.1	3.7
14年6月	2.3	7.5	6.7	6.5	3.8	7.8	9.2	6.6	2.1	3.6
14年7月	2.3	8.0	4.5	6.5	4.1	7.5	9.3	6.3	2.0	3.4
14年8月			4.0							

注：ブラジルは拡大消費者物価指数

## 失業率(%)

	中国	インド	インドネシア	ブラジル	メキシコ	ロシア	トルコ	南アフリカ	米国	日本
13年12月	4.1	9.0		4.3	4.3	5.6	9.6	24.1	6.7	3.7
14年1月				4.8	5.1	5.6	10.3		6.6	3.7
14年2月			5.7	5.1	4.7	5.6	10.2		6.7	3.6
14年3月				5.0	4.8	5.4	9.7	25.2	6.7	3.6
14年4月				4.9	4.8	5.3	9.0		6.3	3.6
14年5月					4.9	4.9	8.8		6.3	3.5
14年6月					4.8	4.9		25.5	6.1	3.7
14年7月					5.5	4.9			6.2	3.8

注：中国・インドは年一度、インドネシアは半年に一度、南アフリカは3ヶ月に一度の発表

## 当資料に関する留意点

- 当資料は、HSBC投信株式会社(以下、当社)が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

## 投資信託に関する留意点

### 投資信託に係わるリスクについて

- 投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金、金融債、保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書(交付目論見書)」および「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認頂きご自身でご判断ください。

### 投資信託に係わる費用について

- 購入時に直接ご負担頂く費用……………購入時手数料 上限3.78%(税込)
  - 換金時に直接ご負担頂く費用……………信託財産留保額 上限0.5%
  - 投資信託の保有期間中に間接的にご負担頂く費用…… 運用管理費用(信託報酬) 上限年2.16%(税込)
  - その他費用……………上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。交付目論見書、契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)等でご確認ください。
- \* 上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、HSBC投信株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

## HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会



03-3548-5690

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)



[www.assetmanagement.hsbc.com/jp](http://www.assetmanagement.hsbc.com/jp)